

# 第八表 淺間山噴火 (其三)

明治四十二年十二月ヨリ大正六年末ニ至ル(編者ノ調査ニヨル)

年 (西曆)	月 日	爆發ノ起レル時刻	記 事
明治四十二年(一九〇九)	十二月 七日	午後 七時四十分〇四秒	強ク爆發シ、山林ノ燒失アリ、信濃國北佐久郡ニテハ家屋ニ多少ノ損ジアリ、音波ノ爲メ硝子窓ノ破損、鴨居ノ墜落、戸障子ノ脱出等アリ、輕井澤ニテハ女一名氣絶セリ、降灰區域ハ太平洋岸ニ及ブ、鳴響ハ仙臺附近及ビ美濃東部ニ迄テ達セリ。東京ニテモ音波ノ爲メ家屋強ク振動セリ。
明治四十三年(一九一〇)	二月十二日	午前二時	輕井澤及ビ上野武藏兩國ニ降灰アリ。
	五月 二日	同 九時	鳴動ス。
	七月 五日	同 一〇時五分	同上。
	七月十一日	午後二時	噴煙降灰(山頂ニ僅少ノ火焰ヲ見ル)。
	十月廿一日	同 三時三分	鳴動ス。
	十一月 七日	(終日)	鳴動連續ス。
	十二月 二日	午後八時三〇分三秒	強ク爆發ス、火焰ヲ認メズ、朽木附近迄少量ノ降灰アリ、鳴響區域ハ明治四十二年十二月七日ヨリハ少シク小ナリ。東京ニテハ爆音二回アリ稍々強クシテ遠キ砲聲ヲ聞クガ如クナリキ。
	十二月十五日	同 五時一分	鳴響ハ東々南へ約百四十「キロメートル」ニ達ス。
	十二月十六日	午前八時五分	鳴響ハ正東へ約百八十五「キロメートル」ニ達ス。

年 (西曆)	月 日	爆發ノ起レル時刻	記 事
明治四十三年(一九一〇)	十二月廿五日	午後 八時五十分〇秒	信濃ノ東方ニ接スル越後、上野、武藏、甲斐ノ一部分及ビ越中、飛騨ノ兩國ニテハ鳴響ヲ聞ケリ、(信濃ニテハ鳴響ヲ聞カズ)。
明治四十四年(一九一一)	一月 三日	同 二時 —	噴煙シ千葉、茨城、埼玉方面へ降灰ス。
	一月 六日	午前 一時 七分 —	噴煙シ埼玉方面へ降灰ス、越中ニテモ鳴響ヲ聞キタリ。
	一月 十六日	同 八時 —	鳴響降灰アリ。
	一月 十七日	同 二時 四分 五分 秒	同上。
	一月 十八日	夜	熊谷ニ微量ノ降灰アリ。
	一月 十八日	午後 一時 八分 七分 秒	前橋、宇都宮地方ニ降灰アリ。
	同	同 五時 二分 五分 秒	鳴響ハ東々南へ百二十五「キロメートル」ニ達ス、(美濃東部ニテモ鳴響ヲ聞キタリ)、前橋ニ降灰アリ。
	同	午後 九時 七分 五分 秒	鳴響ハ東方へ百八十「キロメートル」迄ニ達セリ、宇都宮地方ニ降灰アリ。
	一月 十九日	午前 一時 二分 五分 秒	鳴動、噴煙。
	同	同 九時 四分 七分 秒	鳴動、噴煙(火焰ヲ認ム)。
	同	午後 二時 七分 五分 秒	鳴動、噴煙。
	一月 二十日	同 〇時 四分 七分 秒	噴煙、降灰。
	一月 廿一日	午前 六時 —	埼玉縣飯能町ニ降灰アリ。
	同	午後 〇時 二分 五分 秒	噴煙、前橋ニテ鳴響ヲ聞ク。
	一月 廿二日	同 四時 —	鳴動、前橋ニ微量ノ降灰アリ。

一月廿三日	午後四時二六分	噴煙ス、前橋ニ微量ノ降灰アリ。
同	同 九時二七分二四秒	噴煙鳴動ス、火焰ヲ認ム、前橋、高崎方面ニ降灰アリ。
二月 四日	(終日)	鳴動噴煙ス、長野原、熊谷等ノ方面ニ降灰アリ。
二月 六日	午後八時三分	前橋、高崎ニテ爆聲ヲ聞ク。
二月 十日	午前五時三分	高崎ニテ鳴動ヲ感ズ。
二月 十三日	午後二時三分	鳴動連續ス、前橋ニ降灰アリ。
三月 廿一日	午前二時二分	噴煙、鳴動。
同	同 九時一〇分三秒	大鳴動、降灰ハ埼玉縣管内ニ及ブ。
三月 廿二日	(午後)	數回ノ小噴煙アリ。
三月 廿四日	午後二時五分	小鳴動。
三月 廿五日	同 二時三分三秒	鳴動、降灰。
四月 二日	同 九時五分	鳴動。
同	同 一〇時二分	同上。
四月 三日	同 一時五分三秒	鳴動數回アリ、越中國ニテモ音響ヲ聞ケリ。
四月 四日	午前八時四分	同上、越中國ニテモ音響ヲ聞ケリ。
四月 七日	同 三時四分	前橋ニテ鳴動ヲ感ズ。
四月 八日	午後一時	前橋、熊谷等ニ降灰アリ。
四月 九日	午前〇時	前橋ニ微量ノ降灰アリ。
四月 十一日	同 八時二分	大鳴響。
四月 十三日	午前二時	前橋ニ微量ノ降灰アリ。

年 (西曆)	月 日	爆發ノ起レル時刻	記 事
明治四十四年(一九二一)	四月十六日 五月 八日	午後 四時四〇分 午後 三時二七分五秒	熊谷ニ微量ノ降灰アリ。 強ク爆發シ鎔岩塊ヲ多量ニ拋出ス、無間谷入り口ノ石造小神祠ハ全ク破壊シテ降石ノ爲メニ覆ヒ埋メラル、當日ハ恰モ淺間山開キニ際シ多數ノ登山者アリシヲ以テ一名ノ死者ヲ出ダセリ、遭難者ノ搜索ニ赴キタル四人ノ一行ハ午後六時半頃ノ噴火ニ出會ヒ二名負傷セリ。淺間山南麓ノ御代田小沼等ニテハ空氣波動ノ爲メ多少家屋ノ損害アリ、天井ノ落下セルモノ一個所、鴨居ノ墜落セルモノ二個所、戸障子脱出セル家六十軒ヲ算セリ。鳴響區域ハ長サ二百四十「キロメートル」ニシテ上野、武藏、相模、甲斐ノ全部、信濃ノ東半、越後ノ南部、下野ノ大部、常陸ノ南西部、下總ノ大部、上總ノ西部、駿河ノ西部、遠江ノ東北部ヲ抱有ス。又タ降灰區域ハ幅平均五十「キロメートル」ニシテ淺間山ヨリ南東ノ方向ヲ取り相模灣ニ達セリ、東京ニ於テハ、爆音強クシテ強風ノ襲來セルガ如ク、約十秒間戸障子ヲ振動スルコト稍々強キ地震ノ場合ノ如クナリキ。
明治四十五年(一九二二)	十月廿二日 十二月 三日 一月廿八日	午前 三時四六分 四秒 同 三時一六分 同 三時一六分	強ク爆發ス、鳴響區域ハ淺間山ヨリ北東ノ方、信濃川流域ニ沿ヒ二〇五「キロメートル」ノ距離ニ達セリ。 強キ鳴動アリ、灰、火石ヲ噴出ス、爆音ハ越中國ニモ聞コヘタリ。 長野原及ビ前橋ニテ爆音ヲ聞ク、輕井澤附近、熊谷等ニ降灰アリ。
明治四十五年(一九二二)	一月廿八日	午前 六時三十分ヨリ 午後 七時二十五分マデ	

大正 元年(一九一三)	二月 十三日 十四日	午後一〇時ヨリ 十四日午前七時マデ
	二月 廿二日	午後七時二〇分 及一〇時五〇分
	四月 九日	午後〇時五分
	四月 十五日	午後七時五分
	十月 二日	午前一〇時ヨリ午 後七時四〇分マデ

大正 二年(一九一三)	二月 十一日	午後二時五分四〇秒
	四月 十八日	午後二時五分五〇秒
	四月 廿一日 廿二日	(數回)
	五月 十六日	午後四時四分〇秒

大正 元年(一九一三)	十月 三日 四日	三日午後八時四〇分ヨ リ四日午前一〇時マデ
	十月 七日	午前二時
	十月 九日 十日	九日午後九時三〇分ヨ リ一〇日午前二時二〇 分迄
	十二月 十三日 十四日	三十一時間繼續ス

小諸、熊谷ニ降灰アリ。  
 長野原ニテ爆音ヲ聞ケリ。  
 同前。  
 長野原ニテ低キ爆音ヲ聞ク。  
 長野原及ビ前橋ニテ爆音ヲ聞ク、長野原ニテハ降灰アリ。此ノ連  
 續セル噴火ノ爲メ、淺間噴孔ノ鎔岩底面ハ平坦トナリ且ツ全體ニ  
 著ルシク隆起シ、孔深ヲ減ジタリ。  
 長野原ニテ低キ爆音ヲ聞ク。  
 輕井澤ニテ爆音ヲ聞ク、熊谷ニ微量ノ降灰アリ。  
 長野原ニテ大ナル爆音ヲ聞ク。  
 多量ニ黑煙ヲ噴出シ、赤熱ノ鎔岩ヲ花火ノ如クニ山頂ヨリ抛出セ  
 リ。淺間ヨリ東々北、太平洋岸迄テ降灰アリ、上野、下野、常陸  
 武藏、下總、相模、伊豆、駿河、遠江、信濃、岩城、岩代ニ於テ  
 爆音ヲ聞ク。此ノ連續セル噴火ノ爲メ淺間噴孔ノ鎔岩底面ハ更ニ  
 昇騰シ、鎔岩ハ殆ド噴孔壁ノ頂縁ニ及バントス。山ノ九合目以上  
 ハ黄鳶色ノ輕鬆ナル鎔岩塊ニ覆ハレ其ノ有様ヲ一變セリ。  
 長野原、前橋、熊谷等ニテ爆音ヲ聞ク。  
 前橋ニテ爆音ヲ聞ク。  
 長野原及前橋ニテ爆音ヲ聞ク、降灰アリ。  
 長野原、前橋、熊谷等ニテ爆音ヲ聞ク。

年 (西曆)	月 日	爆發ノ起ル時刻	記 事
大正 二年(一九一三)	五 月廿七日	午前 五時三分二七秒	長野原、草津、小諸、輕井澤ニテ強キ爆音ヲ聞ク。
	五 月廿九日	午前〇時四十分三秒	長野原、小諸、前橋、熊谷及ビ埼玉縣内ノ一部、遠江、駿河、三河、尾張、美濃ノ各地ニテ爆音ヲ聞ク、長野原並ニ越後中部ノ數個所ニテ降灰アリ」淺間山上劍ヶ峯附近ニテ此ノ爆發ニ遭遇セル者二人死傷セリ。
	六 月十三日	午後二時一分二六秒	長野原ニテ強キ爆音ヲ聞ク。
	六 月十七日	同 一〇時四十分四秒	強ク爆發ス。淺間湯之平觀測所ニテハ爆音甚大ニシテ家屋ヲ強ク振動セリ、忽チ前掛山全體ハ赫熱鎔岩塊ニ覆ハレ盛ンニ炎陽ヲ立テタルヲ以テ當時湯之平ニテ觀測ニ從事中ノ西澤技師ハ鎔岩流ト熱泥流トガ前掛山腹ヲ急下シテ將ニ觀測所ヲ埋没セントスルモノナリト思ヒ實際ニ決死ノ覺悟ヲナセリト云フ、流星ノ如キ鎔岩塊ハ觀測所四近及ビ其ノ下方遙カノ地點ニ迄デ抛射セラレタリ」東方太平洋岸マデ降灰セリ、鳴響ハ一方信濃、越後、上野、下野、武藏、下總、常陸ノ各地、又タ他方ハ能登、越中、加賀、越前、近江、美濃、尾張、三河、遠江、駿河ノ各地ニ聞コエタリ。
	六 月十八日	午前 六時三分三秒	長野原ニテ爆音ヲ聞ク。
	六 月二十日	同 四時 六分四秒	東方ニ於テハ上野及ビ隣縣數ヶ所ニ於テ爆音ヲ聞ク、又西方能登ヨリ尾張マデモ爆音ヲ聞ク、降灰區域ハ東々南ノ方約九十「キロメートル」ニ延長ス。

六月廿四日	同	二時三十分五秒	長野原ニテ爆音ヲ聞ク、午前九時十分頃五分間降灰アリ。
六月廿六日	同	八時九分四秒	上野及ビ越後、信濃ノ一部ニテ爆音ヲ聞ク、又々西方美濃、尾張三河ノ一部ニテモ爆音聞ユ、降灰區域ハ東方前橋ヲ限リトセリ。
同	午後二時四分五秒		鳴響區域ハ前回ノ分ト等シ、前橋ニ降灰アリ。
七月一日	同	〇時一七分一秒	別去ニ微量ノ降灰アリ。
七月七日	午前七時一分三秒		長野原、前橋ニテ爆音ヲ聞ク。
同	午後九時四分五秒		長野原ニテ強キ爆音ヲ聞ク。
七月八日	午前五時五分三秒		同前。
七月十三日	午前四時一分一十九秒		長野原ニ降灰アリ。爆音ハ主トシテ南西方、駿河ヨリ近江ニ互リテ聞コエタリ、淺間山四周ニ於テハ僅カニ山麓附近ニ於テノミ鳴響ヲ聞ケリ。加藤助手、小川巡查ハ山頂ヨリ十二三町下ナル地獄澤附近ニテ此ノ爆發ニ遭遇セルモ降石ノ中ヲ逃レテ幸ニ負傷セザリキ。
七月十八日	午前二時八分三秒		長野原ニテ強キ爆音ヲ聞ク、尙西方加賀國金澤、美濃國岐卓、御嵩、白鳥ニテモ鳴響ヲ聞キタリ。
七月十九日	午後〇時四分三秒		強ク爆發シ、降石ノ爲メ湯之平觀測所ノ窓硝子板四枚破損セリ、觀測所附近ニ落下セル熔岩塊ハ地面ニ徑六尺ノ孔ヲ生ジタリ。鳴響ハ三個相離レタル區域内ニ聞エタリ、此等ノ内ニテ最廣ナリシハ遠江ヨリ近江ニ互レリ。

年 (西曆)	月 日	爆發ノ起レル時刻	記 事
大正 二年(一九一三)	八月 十二日	午後 七時四十分 八秒	長野原、輕井澤、岩村田、小諸及ビ三河、尾張、加賀ノ一部ニテ 爆音ヲ聞ケリ。
		同 二時〇分三秒	強ク爆發シ湯之平觀測所構内ニモ拳大ノ赫熱鎔岩塊ヲ落下セリ。 降灰區域ハ淺間山ヨリ東微南ノ方筑波山迄ヲ延長ス。爆音ヲ聞ケ ル地域ハ前回ノ噴火ノ場合ト相似タルモ一層廣キ面積ニ互レリ。 東京ニテモ爆音ヲ聞ケリ。
	八月 十五日	午前 九時五分二秒	強ク噴煙ス、爆音無シ。
		午後 三時五分四秒	同前。
		午後 五時 八分五秒	同前。
	九月 廿一日	午後 一時五〇分五秒	爆音ヲ聞ケル區域ハ二個ノ面積ヨリ成リ、七月十三日及ビ六月二 十六日(午前八時)兩回噴火ノ場合ト相似タリ。
	十月 十五日	午後 〇時四十分三秒	長野原、岩村田、前橋、三ノ倉ニテ爆音ヲ聞ク。
	十月 十七日	午後 三時七分四秒	長野原、草津、前橋、三ノ倉ニテ爆音ヲ聞ク。
	十月 廿六日	午前 三時一分六秒	越後、信濃、上野、武藏、常陸ノ一部ニテ爆音ヲ聞ク。
	十一月 三日	午後 二時五分三秒	長野原及ビ岩村田ニテ爆音ヲ聞ク。横濱附近ニ於テ當日朝及ビ午 後四時ト五時ノ間ニ微量ノ降灰アリ。
		午後 五時一分	長野原及ビ岩村田ニテ爆音ヲ聞ク。
	十一月 四日	午前 八時五分	長野原、岩村田、草津ニテ爆音ヲ聞ク。
	十一月 五日	午前 〇時五七分	岩村田ニテ爆音ヲ聞ク。



大正三年(一九一四)

同	午後 四時三〇分	同前。
十一月 六日	午前 六時〇四分九秒	長野原及ビ前橋ニテ爆音ヲ聞ク。
同	午後 一時三三分六秒	長野原及ビ前橋ニテ爆音ヲ聞ク、鹽原ニ微量ノ降灰アリ。
同	午後 七時三六分二六秒	長野原、三ノ倉及ビ高崎ニテ爆音長ク聞ユ、群馬縣利根郡ニ降灰アリ。
十一月十四日	午前 二時二分五秒	淺間牧場ヨリ噴火ヲ望見ス。
十一月二十日	午後 三時四〇分五秒	前橋ニテ遠雷ノ如キ爆音ヲ聞ク、長野原ニ微量ノ降砂アリ。
十一月十一日	午前 六時二六分三〇秒	岩村田、三ノ倉、前橋ニテ爆音ヲ聞ク、常陸國那珂郡小瀬ニテモ鳴響アリ降灰ス。
一月十二日	午前 二時三〇分	長野原及ビ岩村田ニテ弱キ爆音ヲ聞ク、輕井澤附近ニ微量ノ降灰アリ。
一月廿六日	午前 六時五五分	長野原、岩村田、輕井澤、三ノ倉ニテ爆音ヲ聞ク、前橋ニハ降砂アリ、三ノ倉、宇都宮ニ降灰ス。
一月廿七日	午後 七時三〇分	岩村田ニテ弱キ爆音ヲ聞ク。
同	午後 七時五〇分	同前。
一月廿八日	午後 二時四〇分	長野原及ビ前橋ニテ爆音ヲ聞ク。
一月廿九日	午後 二時五三分	強ク爆發ス。爆音ハ信濃國輕井澤、小諸、岩村田等並ニ上野、越後、佐渡、越中、下野、武藏、常陸、下總、羽前、陸前ノ諸國ニ聞ユ。
二月十四日	午後 一時六分	上野、武藏兩國ニテ爆音ヲ聞ク。

年 (西曆)	月 日	爆發ノ起レル時刻	記 事
大正 三年(一九一四)	二月廿四日	午後〇時二六分	前橋ニテ爆音ヲ聞ク。
	二月廿七日	午前五時二七分	午前六時〇四分迄テ前橋ニテ爆音ヲ聞ク、熊谷附近ニテ午前五時ト九時ノ間ニ降灰アリ。
	三月 三日	午後九時五分	強ク爆發ス、爆音ハ信濃、上野、美濃ノ一部ニ聞コユ、輕井澤ニテハ空氣波動ノ爲メ戸障子ノ外レタルモノアリ。
	三月十四日	午前七時五分	岩村田、長野、前橋ニテ爆音ヲ聞ク。
	三月十五日	午前一時	輕井澤、熊谷及ビ上野國ノ一部ニテ爆音ヲ聞ク。
	三月廿三日	午前七時四分	輕井澤、熊谷及ビ上野國ノ一部ニテ爆音ヲ聞ク。
	三月廿五日	午前二時三分	熊谷及ビ上野國ノ一部ニテ爆音ヲ聞ク。
	三月三十日	午前〇時一分	長野原ニテ爆音アリ、降灰ス。
	四月 六日	午後七時七分	信濃國北佐久郡、熊谷附近及ビ上野國ニテ強キ爆音アリ、長野及ビ横濱附近ニテモ鳴響ヲ聞ク。
	四月 九日	午前八時五分	信濃國北南兩佐久郡及ビ前橋、長野原ニテ爆音ヲ聞ク。
	五月 五日	午前〇時五分	信濃國北南兩佐久郡及ビ上野國ノ一部ニテ爆音アリ、東京ニテモ鳴響ヲ聞ク。
	五月 九日	午後四時七分	長野原、前橋、三ノ倉ニテ爆音ヲ聞ク。
	五月十九日	午後六時	長野原ニテ二三回續キテ遠雷ノ如キ音響ヲ聞ク。
	六月廿四日	午後二時五分	長野ヨリ噴煙ヲ望見ス。
	十一月十二日	午前八時五分	岩村田、白田、小諸及ビ上野國澁川ニテ爆音ヲ聞ク、黒煙ヲ多量ニ

〔此ノ以後ハ大正六年十二月末ニ至ルモ淺間山ハ破裂ヲナサズ〕

同	午後八時五分	ニ噴出シ、白田ヨリ望見セルニ山頂ハ一時火焰トナレリト云フ。輕井澤、前橋ニテハ音響ヲ聞カズ。群馬縣前橋、澁川、鼻毛石ニテ弱キ爆音ヲ聞ク。
十一月十五日	午前二時四分	長野縣岩村田、白田、小諸、輕井澤、埼玉縣熊谷及ビ群馬縣長野原、澁川、鼻毛石等ニテ強キ爆音ヲ聞ク、草津ニ降灰アリ、又長野市及ビ越後國一部ニテモ聲響ヲ聞キタリ。
十一月十六日	午後七時七分	輕井澤、前橋ニテ弱キ爆音ヲ聞ク。
十二月十四日	午後三時三分	前橋ニテ微ナル爆音ヲ聞ク、同日午前八時半頃並ニ午後零時二十分頃ヨリ淺間ノ黑煙ハ其量ヲ増シ、午後三時三十五分ノ鳴動後ハ噴煙一層盛トナレリ。十三日午前十時頃ヨリ十四日午前二時頃ニ互リ埼玉縣熊谷、若泉、本庄等ニ降灰アリ。
十二月十五日	午前〇時五分	美濃國岐阜、長嶺、岩村、板取、大垣ニテ北東方ニ當リ、又タ千葉縣市原郡鶴舞町ニテ北西ニ當リ、共ニ稍々強キ爆音ヲ聞ク。
十二月十六日	午前七時	美濃國加納、席田、岩村、上村、大垣、板取、氣良、御嵩、八幡土岐津等ニテ北東若クハ東方ニ稍々強キ爆音ヲ聞ク。